

番号	6 - 13	申請者	看護師 山田 美和
<p>【審査申請課題】</p> <p>重症心身障害児のレスパイト入院時の家族支援</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>小児科A病棟では32床のうち、急性期入院を受け入れながら一日最大6名の重症心身障害児（者）（以下、重症児）のレスパイト入院を受け入れている。全国的に重症児の数は増加傾向であり、レスパイトのニーズは高まっている。しかし、小児科A病棟のレスパイト入院利用者は減少傾向である。レスパイト入院の利用が増えない要因の一つとして、養育者のわが子の状態に対する不安が考えられ、レスパイト入院における養育者の安心につながる看護支援についての先行研究が実施されている。小児科A病棟はCovid-19専用病棟から小児科病棟へ移行した経緯があり、移行時、小児科経験の少ないスタッフが6割を占めていた。急性期入院を受け入れながら、高度な医療的ケアが必要なレスパイト入院を受け入れている状況で、養育者が安心できる看護を十分に行えているか確認する必要があると考えている。そこで本研究の目的は、先行研究をもとに養育者に半構造化面接を行い養育者の安心につながる看護支援を明らかにするとする。</p>			
審査結果	承認（令和7年2月28日）		